

平成18年(2006)日刊22845号

6月22日 [木]

産業経済新聞(サンケイシンブン)

発行所: THE SANKEI SHIMBUN

〒596-8660 大阪市西区梅田2-1-51

☎ 大阪(06)6633-1221(大代表)



島根県出雲市の建設業、
出雲土建(石飛裕司社長)
が開発した調湿木炭「炭
八」が島根大医学部との共
同研究で、アトピー性皮膚
炎や小児ぜんそくの症状改
善に一定の効果が認められ、
建材業界だけでなく医
学界でも注目を集めてい
る。

炭八は針葉樹の廃木材を
破碎、780度で焼いた2
ミリ×2ミリの棒状の炭を不織
布の袋(45cm角、厚さ7
cm、12kg)に詰めたもの。
10立方㍍の空気湿度を10%
下げる吸湿性に優れ、島根
大医学連携センターなどの
協力で調湿能力を最大限発
揮する製造条件を確立し、
今年2月には特許を取得し
た。昨年から同大医学部の
皮膚科、小児科との共同研
究に着手。アトピー性皮膚
炎や小児ぜんそくの患者13
人の家の床下や天井、押し
入れなどに炭八を敷設し

調湿木炭 アトピーに効果

島根の建設会社開発「炭八」 医学界から注目

た。この結果、アトピー性
皮膚炎では、1年間で6人
中5人が発疹やはれが治ま
るなど症状が改善。ダニや
カビに対する血液中のアレ
ルギー性抗体値も低下傾向
がみられた。また、炭八を敷いて3カ
月を過ぎたところからカビの
胞子数が減少、増加抑制効
果もあった。小児ぜんそく
では、半年間で7人中5人
が、学校を休んだり、せき
込む回数が少なくなり、薬
の種類を減らせる効果が認
められた。先月の第18回日
本アレルギー学会で報告し
た竹谷健助(35)は「調湿
木炭がぜんそく症状を和ら
げる効果がある可能性が高
い」と話している。

同社の販売子会社「出雲
カーボン」は中国地方から
近畿・北陸に販路を拡大。

18年度は販売額1億500
万円を見込んでいる。石
飛社長は「マンションなど
では気密性が高く、高温多
湿が悩み。将来は首都圏ま
で販路を拡大したい」と話
している。通常、1畳当た
り8袋を使用。価格は1袋
980円(税込み)。問い合わせ
は出雲カーボン(☎ 0853-24-8808)。



新築マンションの天井に施工中の調湿木炭「炭八」=島根県出雲市内